marantz®

Model PM4001 取扱説明書

Integrated Amplifier

マランツのステレオインテグレーテッドアンプをお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合わせください。

目　次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

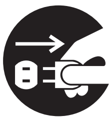
絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

安全上のご注意

警　告

電源プラグをコンセントから抜く

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

● 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

● 風呂場等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

接触禁止

● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

● 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

電源プラグをコンセントから抜く

● 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。

この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

● この機器を設置する場合は、壁から 20cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れる時は、機器の天面から 20cm 以上、背面から 20cm 以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

安全上のご注意

警告

- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

- この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

分解禁止

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、テレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみになる前にも、音量（ボリューム）を最小にしてください。

電源プラグをコンセントから抜く

- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

- 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。

電源プラグをコンセントから抜く

- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

安全上のご注意

注意

- 5 年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス ⊕ 端子とマイナス ⊖ 端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

- 長期間使用しない時は、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

電源プラグを
コンセントから抜く

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

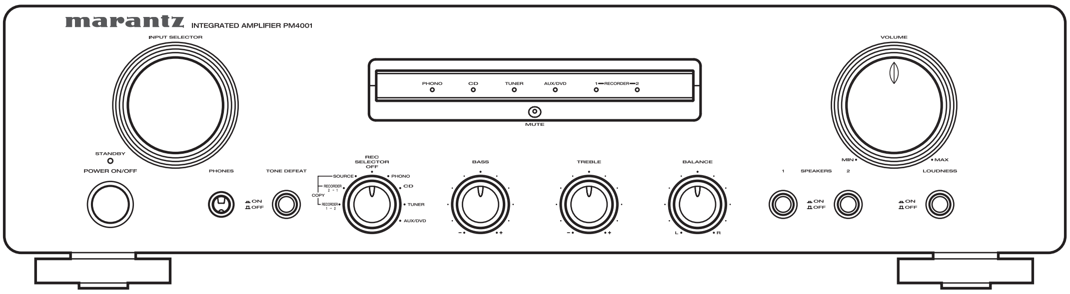
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- この機器の上に物を置かないでください。この機器の上には通気孔があります。通気孔をふさぐと中に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

高温注意

- 使用中および使用直後は、操作部、後面接続端子部以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどの恐れがあり､危険です。特に上面など高温部には触れないでください。

主な特長



● ハイパワー 80W × 2（4 Ω、ダイナミックパワー）

スリムなボディーながら、大型電源部によるハイ・パワーで音楽を躍動的に再生します。

● 高音質設計

信号経路の最短化や高音質パーツの採用、ゆとりのある電源回路など単品コンポーネントならではの高音質設計となっています。

● 録音セレクターを搭載

テープデッキ、CD-R/MD 間でのダビングや、裏録音を可能にする録音セレクターを搭載しています。（→ 14 ページ）

● レコードプレーヤーの接続が可能なフォノ入力端子

フォノアンプを搭載していますので、レコードプレーヤーをそのまま接続して楽しむことができます。（MM カートリッジのみに対応します。）（→ 13 ページ）

● 2 系統スピーカー出力端子搭載

2 組のスピーカーを鳴らし分けるのはもちろん、中・高域、低域用に出力端子が分かれたバイワイヤリング対応のスピーカーにも簡単に接続できます。端子はオーディオ用の太めのコードも確実に接続できるスクリュー式を採用しました。また、ワンタッチで簡単に接続できるバナナプラグにも対応しています。（→ 7 ページ）

● トーンコントロール機能

低音域、高音域の強弱調整が可能なトーンコントロール機能を搭載していますので、システムにあわせてお好みの音質に調整できます。（→ 8 ページ）

● ラウドネス機能

小音量再生時に音楽を聞き取りやすくするラウドネス機能を搭載しています。（→ 8 ページ）

● ワイヤレスリモコン付属

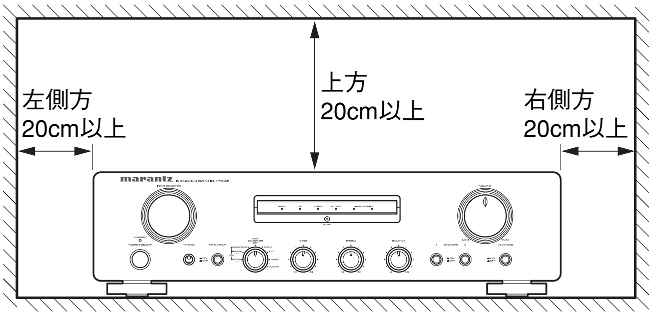
本機をはじめマランツの CD プレーヤーなどを操作可能なワイヤレスリモコンを付属しています。（→ 10 ページ）

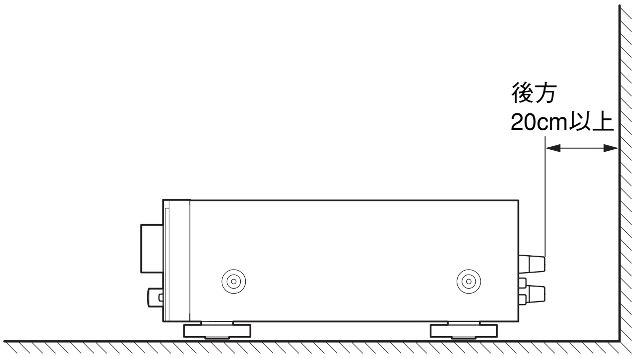
ご使用の前に

■ 次のような場所には置かない

本機を末永くご使用いただくために、次のような場所には置かないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器に近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- 天地の狭いオーディオラックなど放熱を妨げる所
  放熱のため、本機を下図の通りに壁や他の機器等から離して設置してください。





■ 上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。通風孔をふさぐと事故や故障の原因になります。

■ 使用中・使用直後に上面などの高温部には触れない

使用中と使用直後は、操作部、後面接続端子部以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどのおそれがあり危険です。特に上面などの高温部には触れないでください。

■ ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流 100V をご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz 地域または 60Hz 地域でご使用できます。

■ 乾電池の取扱いかた

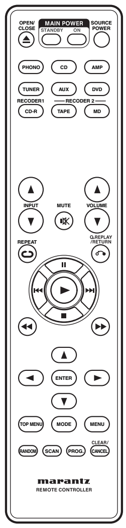
乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などの原因となることがあります。
以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 長期間（1 ヶ月以上）リモコンを使用しない時は、電池を取り出しておいてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。
- 乾電池のプラス＋とマイナス－の向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液もれを起こした時は、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

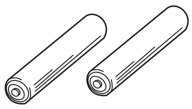
■ 付属品の確認

箱を開けたら下記の付属品が揃っていることをご使用の前にご確認ください。

- リモコン



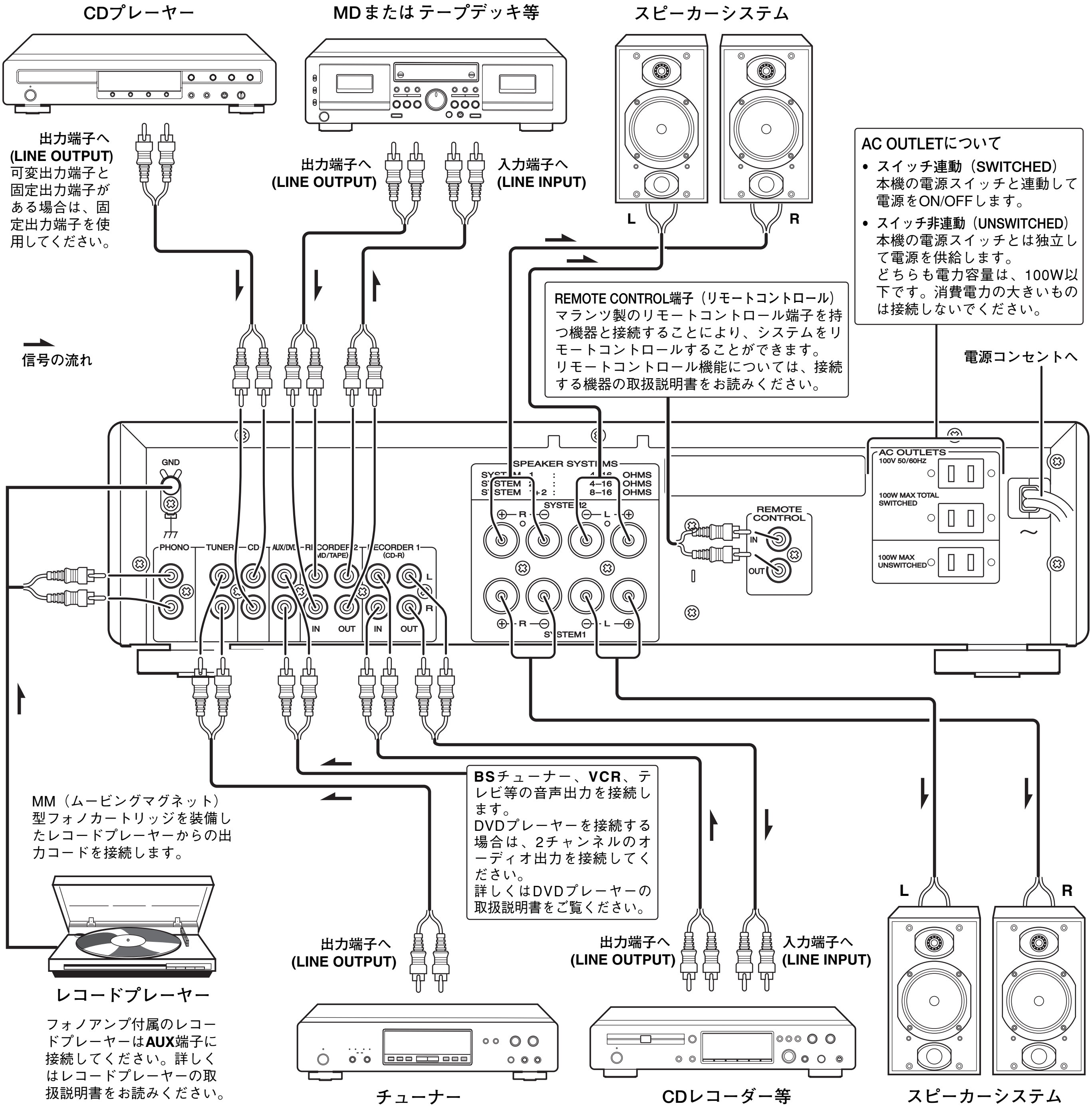
- 単 4 乾電池 2 本



- 取扱説明書（本書）
- 保証書

接続のしかた

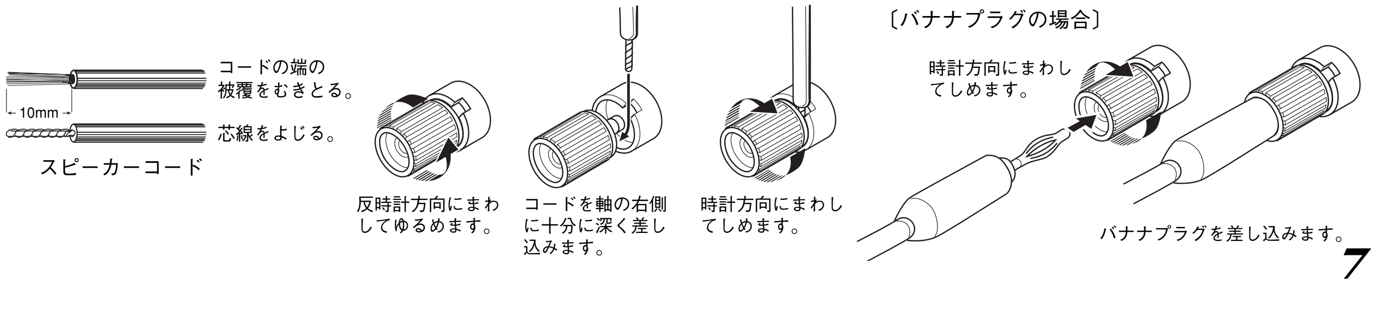
ご注意 接続するときは本機および接続する各機器の電源を必ず切ってから行ってください。



■ スピーカーシステムの接続

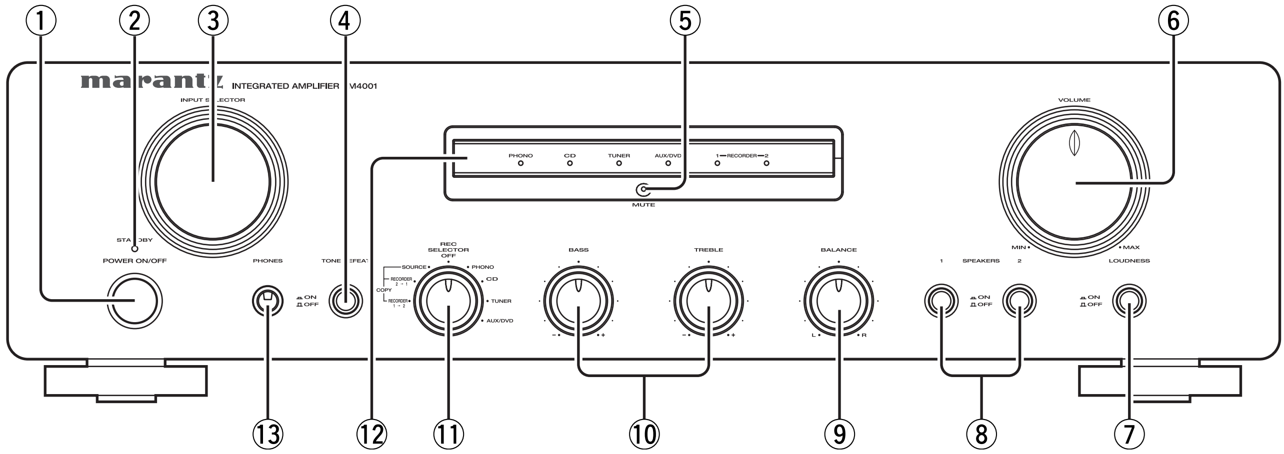
出力端子には、プラス（⊕:赤色）とマイナス（⊖:黒色）の極性があり、スピーカーシステムにも極性（⊕と⊖）があります。接続する場合は、必ず同じ極性（⊕と⊕、⊖と⊖）に接続してください。

■ スピーカーコードの接続



各部の名称とはたらき

■ 前面



① 電源スイッチ（POWER ON / OFF）

一度押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。さらに電源スイッチがON状態の時、リモコンを使って電源を入れたり切ったりできます。
リモコンのMAIN POWER OFFボタン（またはSOURCE POWERボタン）を押して電源を切った場合、本機は待機状態（スタンバイ）となります。また、このスイッチとリモコンのMAIN POWER OFFボタン（またはSOURCE POWERボタン）で、後面にあるAC OUTLETS（SWITCHED）の電源をON/OFFできます。
スタンバイの時は、② スタンバイインジケーターが点灯します。
リモコンの説明は10ページを参照してください。
初期状態の時はスタンバイ状態より動作します。インプットセレクターを回して電源を入れてください。

② スタンバイインジケーター（STANDBY）

待機状態の時に点灯します。

③ インプットセレクター（INPUT SELECTOR）

録音や再生をするために、PHONO、CD、TUNER、AUX/DVD、RECORDER 1（CD-R）、RECORDER 2（MD/TAPE）それぞれのプログラムソースを選択するスイッチです。
スタンバイ状態の時このノブを回すと電源が入ります。

④ トーンデフィートスイッチ（TONE DEFEAT）

オーディオ信号をトーンコントロール回路に通さない場合にスイッチをON（押した状態）にします。この時トーンコントロール、バランスコントロール機能は働きません。

⑤ ミューティングインジケーター（MUTE）

リモコンのMUTEボタンを押すと点灯します。もう一度押すと消灯します。

ご注意

このインジケーターが点灯していますと音がでない状態になります。消灯する時には今一度、ボリュームコントロールつまみの位置を確認してください。音量が大きい位置になったままですと、接続しているスピーカーがダメージを受ける恐れがあります。

⑥ ボリュームコントロールつまみ（VOLUME）

音量を調整します。つまみを右（↻）にまわすと音量が大きくなります。
付属リモコンのUP（音量を大きくする）/DOWN（音量を小さくする）でもコントロールできます。

⑦ ラウドネススイッチ（LOUDNESS）

小さい音量の時、低音および高音を強調することにより、人間の耳の特性に合わせて音質を補正します。押した状態でラウドネス効果を発揮します。

⑧ スピーカー 1 / 2 スイッチ（SPEAKERS 1 / 2）

後面パネルのSPEAKER SYSTEMS 1、2端子を選択するスイッチです。スイッチを1,2両方ON（押した状態）にすると、同時に両方のスピーカーシステムを使用することができます。ヘッドホンのみを使用する時は、スイッチは1,2共にOFF（押していない状態）にしてください。

⑨ バランスコントロールつまみ（BALANCE）

LEFT（左）チャンネル、RIGHT（右）チャンネルどちらか一方のチャンネルの音量を変える場合に使います。
なお、バランスコントロールつまみがどちらか片方いっぱいにまわしきられていますと、反対側のスピーカーからは音がでませんのでご注意ください。

⑩ トーンコントロールつまみ（BASS、TREBLE）

音質を調節するつまみで、各音域の強弱はそれぞれのつまみをまわすことによってコントロールされます。
各音域とも時計回りで強調され、反時計回りで弱められます。

TREBLE ：　高音域の音質を調整します。
BASS ：　低音域の音質を調整します。

⑪ 録音セレクタースイッチ（REC SELECTOR）

CD-R、MD/TAPE間でのテープダビングモードや、録音出力（REC OUT）端子から出力される信号を選びます。

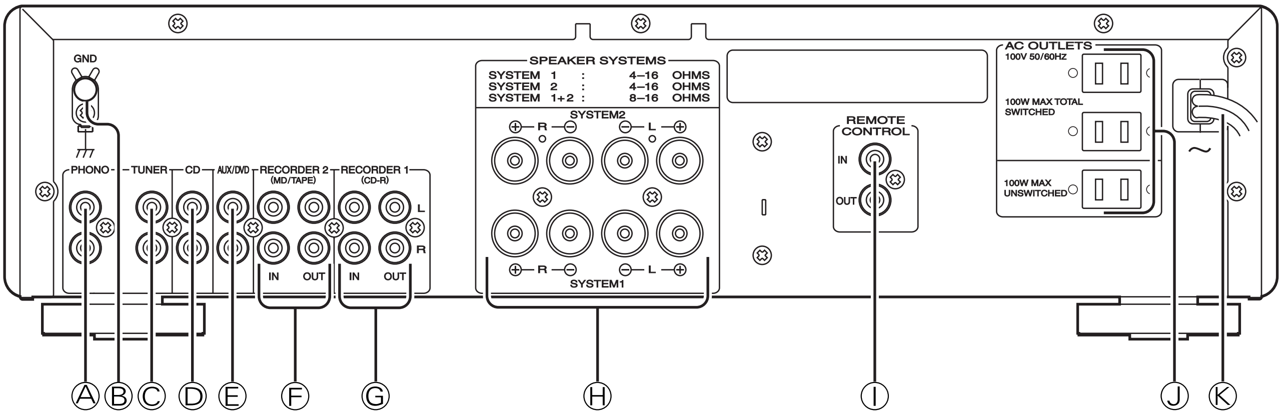
⑫ 赤外線受光窓（IR SENSOR）

赤外線リモコン信号を受ける窓です。リモコンを受光窓に向けて送信してください。

⑬ ヘッドホンジャック（PHONES）

このジャックは標準プラグのステレオヘッドホンを使います。ミニプラグタイプのヘッドホンを使う時はアダプター（別売）を使用してください。

■ 背面



Ⓐ PHONO 入力端子

アナログレコードプレーヤーの出力端子を接続するジャックです。

Ⓑ 接地端子（GND）

アナログレコードプレーヤーのアース線を接続します。

Ⓒ TUNER 入力端子

チューナーの出力端子を接続するジャックです。

Ⓓ CD プレーヤー入力端子

CD プレーヤーの出力端子を接続するジャックです。

Ⓔ AUX/DVD 入力端子

DVD プレーヤー、TV 音声多重 / ステレオオーディオチューナー、ビデオデッキ、レーザーディスクプレーヤーなどの AV 機器の音声出力端子を接続できる外部入力ジャックです。

Ⓕ RECORDER 2（MD/TAPE）入出力端子

MD デッキまたはテープデッキの再生（出力）端子と録音（入力）端子を接続するジャックです。

Ⓖ RECORDER 1（CD-R）入出力端子

CD レコーダーの再生（出力）端子と録音（入力）端子を接続するジャックです。

Ⓗ スピーカーシステム 1 / 2 端子（SPEAKER SYSTEM 1 / 2）

1 組または 2 組のスピーカーシステムを接続する端子です。

Ⓘ リモートコントロール端子（REMOTE CONTROL）

専用のケーブルを使用して、リモートコントロール端子を備えたマランツ製のオーディオ機器を接続できます。
出力（OUT）端子は接続した機器への信号送信に使用し、入力（IN）端子は接続した機器からの信号受信に使用します。

Ⓙ AC アウトレット

（SWITCHED/UNSWITCHED）

本機の AC アウトレットから他の AV 機器に電源を供給できます。
本機は SWITCHED と UNSWITCHED の AC アウトレットを装備しています。

SWITCHED（スイッチド：連動）

本機の電源 ON/ スタンバイに連動し、電源供給を ON/OFF します。
消費電力が最大 100W までの機器を接続できます。

UNSWITCHED（アンスイッチド：非連動）

本機の電源 ON/ スタンバイに関係なく、電源供給をします。
消費電力が最大 100W までの機器を接続できます。

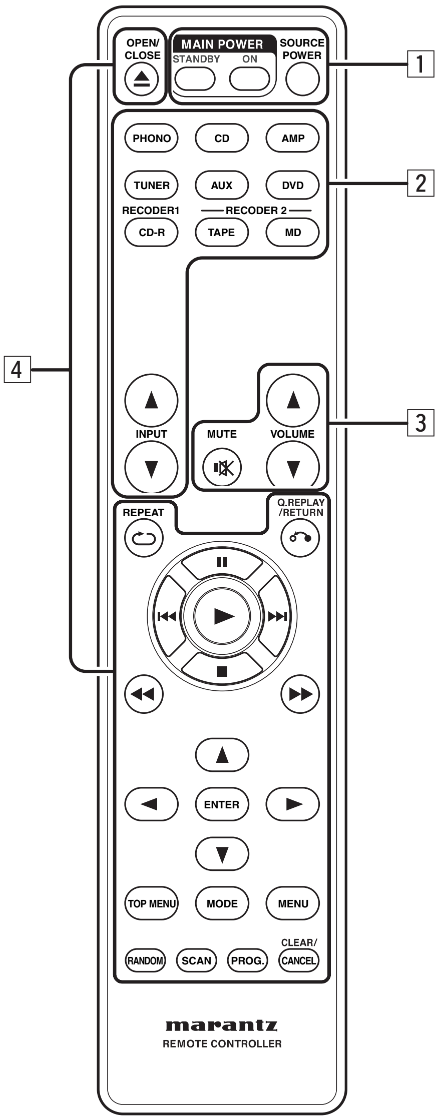
Ⓚ 電源コード

ご家庭の電源コンセントに接続してください。交流 100V の 50Hz 地域と 60Hz 地域でご使用いただけます。

■ リモコン

このリモコンは PM4001 とリモコン受光窓の付いているマランツ製 CD プレーヤーや DVD プレーヤー及びチューナー、テープデッキなどをコントロールすることができます。リモコン操作によりコントロールできる内容が異なる場合もありますので、組み合わせる機器の取扱説明書も参照してください。

ボタンレイアウトは下図を参照してください。



1 電源のオン・スタンバイ

a. MAIN POWER ON ボタン
PM4001 がスタンバイ状態の時オンになります。

b. MAIN POWER STANDBY ボタン
PM4001 が電源オン状態の時スタンバイになります。

c. SOURCE POWER ボタン
マランツの CD プレーヤー、チューナー、CD-R などで電源スタンバイ機能があるモデルは、入力切り替えボタンに続けてこのボタンを押すと、電源オン／スタンバイの切り替えができます。
TUNER ボタンを押した後このボタンを押すと、チューナーの電源がオンになり、もう一度押すとスタンバイとなります。
AMP ボタンと続けてこのボタンを押すと PM4001 の電源がオン／スタンバイ交互に切り替わります。

2 入力切換えボタン

● 入力ソースボタン
入力ソースをダイレクトに選択するボタンです。本機では AMP ボタンは使用しません。

ご注意
PM4001 本体では AUX と DVD および RECORDER2 の TAPE と MD はそれぞれ同じ入力端子になっていますが、リモコンではマランツ機器を個別に操作できるように別々のボタンが用意されています。

● INPUT ▲ ボタン
入力ソースを順送りして選択するボタンです。
本体のファンクションインジケーターに表示される入力ソースを右に送ります。

● INPUT ▼ ボタン
入力ソースを逆送りして選択するボタンです。
本体のファンクションインジケーターに表示される入力ソースを左に送ります。

3 ボリューム調整ボタン

● MUTE ボタン
ミュート状態にするボタンです。もう一度ボタンを押すとミュートを解除します。
ミュート中に VOLUME▲ または ▼ ボタンを押してもミュートを解除します。

● VOLUME ▲ ボタン
音量を大きくするボタンです。

● VOLUME ▼ ボタン
音量を小さくするボタンです。

4 プレーヤーなどを操作するボタン

マランツ製 CD プレーヤーやＤＶＤプレーヤーなどの基本的な操作をするボタンのグループです。x の入力切換えボタンで選択した入力ソースによりそれぞれの機器に対応した機能に変わります。

■ CD

CD ボタンを押した場合は、4 のボタングループは下表のように機能します。CD 入力端子にはマランツ製 CD プレーヤーを接続しておくと操作することができます。

ボタンの名称	機　能
OPEN/CLOSE ▲	ディスクトレイのオープン / クローズ
REPEAT	リピート再生
RETURN/ Q.REPLAY	クイックリプレイ
II	ポーズ（一時停止）
►	プレイ（再生）
■	ストップ（停止）
►►I	トラックスキップ（次の曲へ進む）
I◄◄	トラックスキップ（曲の始め / 前の曲へ戻る）
►►	サーチ（早送り）
◄◄	サーチ（早戻し）
▲	使用できません
▼	使用できません
◄	使用できません
►	使用できません
ENTER	クイックリプレイ設定時に使用
TOP MENU	時間表示切り替え
MODE	スーパーオーディオ CD の再生エリア選択
MENU	クイックリプレイ設定時に使用
RANDOM	ランダム再生
SCAN	オートミュージックスキャン（AMS）再生
PROG.	プログラム再生
CLEAR/CANCEL	プログラムした曲の取り消し

■ DVD

DVD ボタンを押した場合は、4 のボタングループは下表のように機能します。AUX/DVD 入力端子にはマランツ製 DVD プレーヤーを接続しておくと操作することができます。

ボタンの名称	機　能
OPEN/CLOSE ▲	ディスクトレイのオープン / クローズ
REPEAT	リピート再生
RETURN/ Q.REPLAY	前のメニュー画面に戻る
II	ポーズ（一時停止）
►	プレイ（再生）
■	ストップ（停止）
►►I	トラックスキップ（次の曲へ進む）
I◄◄	トラックスキップ（曲の始め / 前の曲へ戻る）
►►	サーチ（早送り）
◄◄	サーチ（早戻し）
▲	カーソルを上に移動
▼	カーソルを下に移動
◄	カーソルを左に移動
►	カーソルを右に移動
ENTER	選択した項目を決定
TOP MENU	最初のメニュー画面を表示
MODE	音声切り替え
MENU	メニュー画面を表示
RANDOM	ランダム再生
SCAN	サーチ種類を選択
PROG.	プログラム再生
CLEAR/CANCEL	リピート、ランダム、プログラム再生の取り消し

■ TUNER

TUNER ボタンを押した場合は、4 のボタングループは下表のように機能します。TUNER 入力端子にはマランツ製チューナーを接続しておくと操作することができます。

ボタンの名称	機　能
OPEN/CLOSE ▲	使用できません
REPEAT	使用できません
RETURN/ Q.REPLAY	使用できません
II	バンド切り替え
►	使用できません
■	スリープタイマー（ST7001 のみ）
►►I	プリセット局順送り
I◄◄	プリセット局逆送り
►►	チューニング（周波数）アップ
◄◄	チューニング（周波数）ダウン
▲	使用できません
▼	使用できません
◄	使用できません
►	使用できません
ENTER	使用できません
TOP MENU	使用できません
MODE	ステレオ / モノラル切り替え
MENU	メニュー
RANDOM	使用できません
SCAN	プリセットスキャン
PROG.	タイマープログラム
CLEAR/CANCEL	プログラム取り消し

■ TAPE

RECORDER 2(TAPE) ボタンを押した場合は、4 のボタングループは下表のように機能します。RECORDER 2（TAPE）端子にはマランツ製テープデッキを接続しておくと操作することができます。

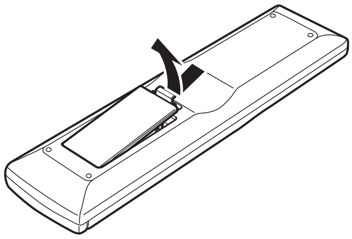
ボタンの名称	機　能
OPEN/CLOSE ▲	テープ取り出し（対応機種のみ）
REPEAT	使用できません
RETURN/ Q.REPLAY	ダイレクション（A/B 面切り替え）
II	ポーズ（一時停止）
►	プレイ（再生）
■	ストップ（停止）
►►I	次の曲へ
I◄◄	前の曲へ
►►	早送り
◄◄	早戻し
▲	使用できません
▼	使用できません
◄	使用できません
►	使用できません
ENTER	使用できません
TOP MENU	時間表示切り替え
MODE	使用できません
MENU	使用できません
RANDOM	使用できません
SCAN	使用できません
PROG.	使用できません
CLEAR/CANCEL	カウンターリセット

■ リモコンの使用について

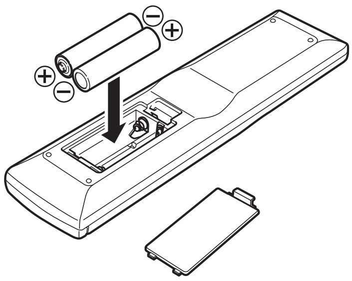
● リモコンに乾電池を入れる

付属のリモコンを最初にご使用になる前に、リモコンに乾電池を入れてください。
付属の乾電池はリモコンの動作確認用です。

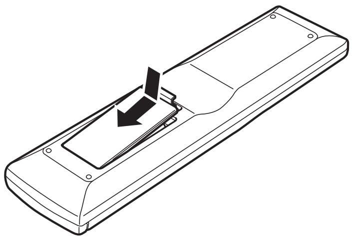
① 裏ぶたをはずします。



② 新しい単 4 乾電池 2 本を、極性表示 (⊕: プラスと ⊖: マイナスの向き) に注意し、表示通りに正しく入れます。

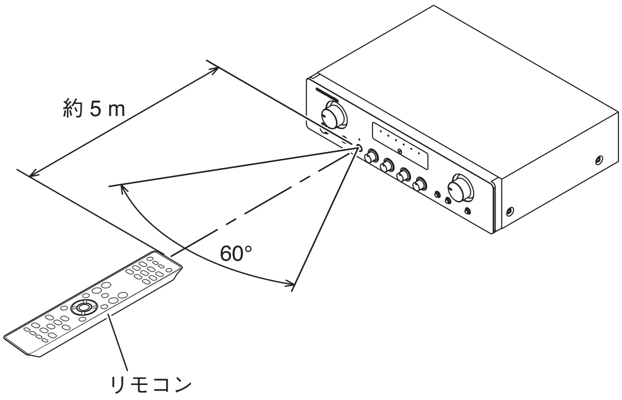


③ カチッと音がするまでしめます。



● リモコンの動作範囲

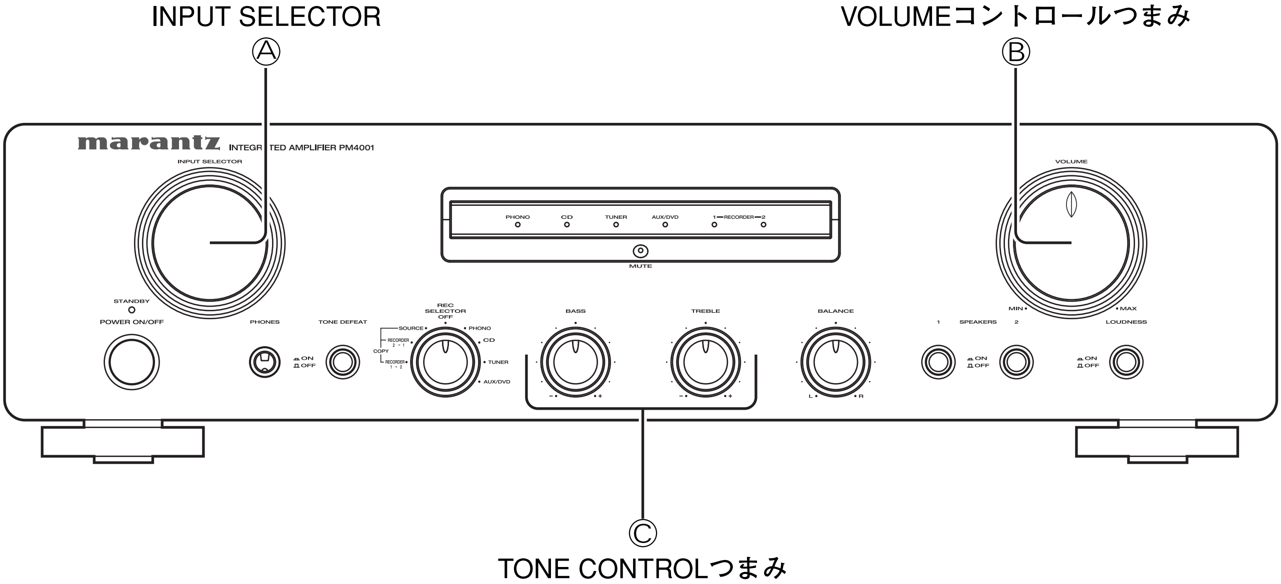
リモコンによる本体の操作可能範囲は下図のように約 5m の距離です。



● 使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。リモコンが操作できない場合があります。
- リモコンを操作すると、赤外線で操作する他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

基本的な使いかた



■ レコードを再生する

1. INPUT SELECTOR Ⓐ で PHONO にします。
2. レコードプレーヤーを操作します。
3. VOLUME コントロールつまみ Ⓑ で音量を調整します。
4. TONE CONTROL つまみ Ⓒ で音質を調整します。

ご注意

- レコードプレーヤーのカートリッジを交換する時や、レコード盤に針をのせるときは、ボリュームをしぼった状態で行ってください。
- レコードプレーヤーをスピーカーシステムの近くに設置しますと、ハウリング（ブーンという振動音）を起こし、音量を大きくできない場合があります。
- レコード盤に針をのせたまま電源を切らないでください。

■ FM / AM 放送の聴きかた

1. INPUT SELECTOR Ⓐ で TUNER にします。
2. チューナーを操作し、放送を受信します。
3. VOLUME コントロールつまみ Ⓑ で音量を調整します。
4. TONE CONTROL つまみ Ⓒ で音質を調整します。

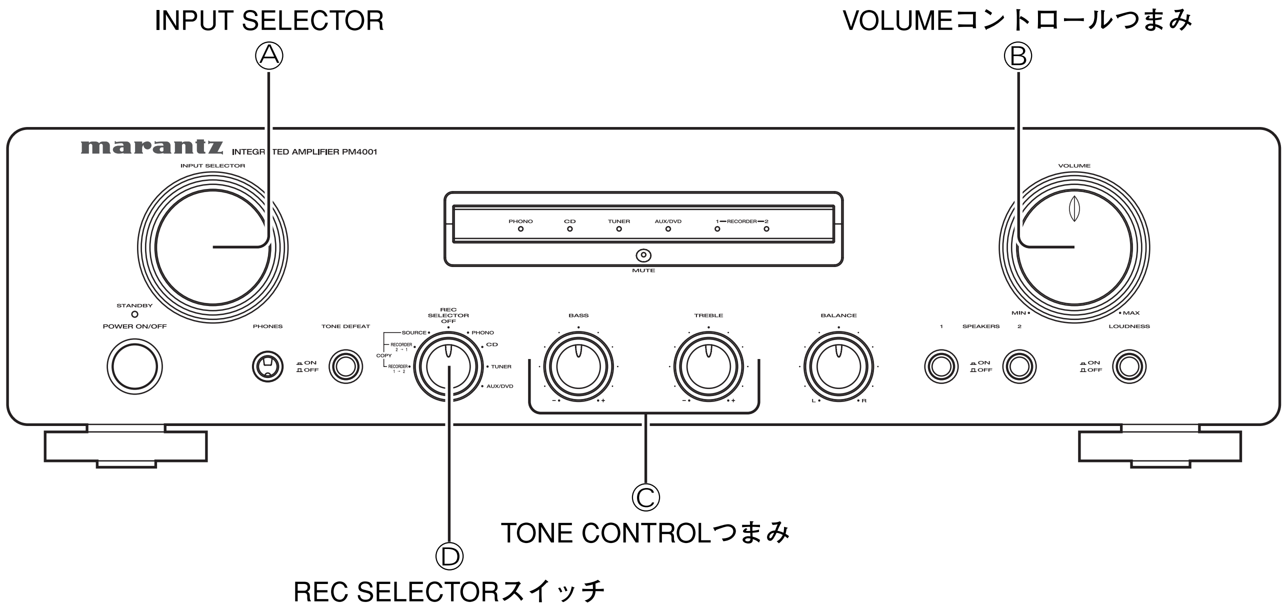
■ CD プレーヤーを再生する

1. INPUT SELECTOR Ⓐ で CD にします。
2. CD プレーヤーを操作します。
3. VOLUME コントロールつまみ Ⓑ で音量を調整します。
4. TONE CONTROL つまみ Ⓒ で音質を調整します。

■ AUX / DVD に接続した機器の聴きかた

1. INPUT SELECTOR Ⓐ で AUX/DVD にします。
2. AUX/DVD に接続した機器を操作します。
3. VOLUME コントロールつまみ Ⓑ で音量を調整します。
4. TONE CONTROL つまみ Ⓒ で音質を調整します。

テープデッキ等を使う時



■ CD-R、MD / TAPE 再生する

1. INPUT SELECTOR Ⓐ で RECORDER 1（CD-R）または RECORDER 2（MD/TAPE）にしてください。

   インジケーターが点灯します。

2. CD-R あるいは MD、テープデッキを操作し、録音済みメディアを再生します。
3. VOLUME コントロールつまみ Ⓑ で音量を調整します。
4. TONE CONTROL つまみ Ⓒ で音質を調整します。

■ CD-R、MD / TAPE 録音する

レコードプレーヤーやチューナー、および CD プレーヤーなどのプログラムソースをテープに録音するには、次のように行ってください。

1. REC SELECTOR スイッチ Ⓓ で、録音しようとするプログラムソースを選びます。
2. プログラムソースを再生します。
3. CD-R あるいは MD/ テープデッキを操作してテープまたはディスクに録音します。

■ 録音セレクター（REC SELECTOR）スイッチの使用について

REC SELECTOR スイッチ Ⓓ は、MD やカセットテープを別のメディアへコピーするときや、CD を CD-R に録音する場合などに使用します。
このスイッチは TUNER のソースをスピーカーで聞きながら、CD を CD-R にコピーする等の裏録音をする時にも使うことができます。

1. スイッチが OFF の位置では、信号は REC OUT 端子には出力されません。信号を MD やテープに録音する以外は、REC OUT 端子に信号を出力する必要はありません。スイッチを OFF の位置にセットすると、本機内部の信号経路が短くなり、クロストーク（信号の漏れ）などを少なくすることができます。
2. SOURCE の位置では、INPUT SELECTOR Ⓐ で選択した信号を RECORDER 1（CD-R）、RECORDER 2（MD/TAPE）に録音できます。
3. COPY の位置では、RECORDER 1（CD-R）の信号を RECORDER 2（MD/TAPE）へコピー、または RECORDER 2（MD/TAPE）の信号を RECORDER 1（CD-R）へコピーができます。
4. PHONO の位置では、PHONO（レコード）の信号を RECORDER 1（CD-R）、RECORDER 2（MD/TAPE）に出力します。
5. CD の位置では、CD の信号を RECORDER 1（CD-R）、RECORDER 2（MD/TAPE）OUT に出力します。
6. TUNER の位置では、TUNER の信号を RECORDER 1（CD-R）、RECORDER 2（MD/TAPE）OUT に出力します。
7. AUX の位置では、AUX の信号を RECORDER 1（CD-R）、RECORDER 2（MD/TAPE）OUT に出力します。

故障とお考えになる前に

故障かな？と思われましたらちょっとチェックしてみてください。
意外な操作ミスで故障と思われることがあります。
下記の項目をチェックしても正常に動作しない場合は、お買い上げになった販売店、お近くのマランツコンシューマーマーケティング各営業所、または当社サービスセンターにご相談ください。

★ アンプが動作せずインジケーターが点灯しない

1. 電源プラグが正しく AC コンセントに差し込まれているか確認してください。

★ インジケーターは点灯するがアンプが動作しない

1. インプットセレクタースイッチ（INPUT SELECTOR）を間違えていないか、ボリュームコントロールつまみ（VOLUME）位置が MIN になっていないか、ミュート（MUTE）が ON になっていないかなどをチェックしてください。
2. 電源スタンバイ状態になっていないかチェックしてください。
   長い間ご使用にならないとバックアップが解除されます。セレクターノブを回してみてください。

★ 一方のスピーカーからしか音が聞こえない

1. バランスコントロールつまみ（BALANCE）の位置をチェックしてください。
2. セットの電源を切り、左右チャンネルのスピーカーコードを入れ換えてみてください。それでも同じスピーカーから音がでないときは接続コード、あるいはスピーカーの不良です。

★ レコードプレーヤーのハムが大きい

1. フォノプラグと端子が正しく確実に接続されているかチェックしてください。
2. レコードプレーヤーのアース線をセット後面にある GND 端子に接続してみてください。すでに接続されている場合は、はずしてみてください。
3. フォノカートリッジがトーンアームにしっかり接続されているかチェックしてください。
4. レコードプレーヤーの電源コードプラグを逆にして、コンセントに差し込んでください。

仕様・外観寸法図

■ 仕様

定格出力（20 Hz ～ 20 kHz 両 ch 同時駆動）
..........40 W × 2（8 Ω負荷）
..........47 W × 2（6 Ω負荷）
..........55 W × 2（4 Ω負荷）
ダイナミックパワー
..........55 W × 2（8 Ω負荷）
..........67 W × 2（6 Ω負荷）
..........80 W × 2（4 Ω負荷）
全高調波歪率（20 Hz ～ 20 kHz、8 Ω負荷）.......... 0.03 %
混変調歪率（SMPTE）.......... 0.015 %
出力帯域幅（8 Ω負荷、0.03 %）.......... 10 Hz ～ 50 kHz
周波数特性（CD、トーンデフィート）.......... 10 Hz ～ 100 kHz $^{+0dB}_{-3dB}$
ダンピングファクター（8 Ω負荷、20 Hz ～ 10 kHz）.......... 100
入力感度 / 入力インピーダンス
PHONO（MM）.......... 2.5 mV/47 k Ω
HIGH LEVEL.......... 170 mV/20 k Ω
PHONO 最大許容入力（1 kHz）
（MM）.......... 130 mV
RIAA 偏差
（40 Hz ～ 20 kHz）.......... ± 0.3 dB
S/N 比（A・ウエイト補正）
PHONO（MM）.......... 83 dB（JEITA）
HIGH LEVEL.......... 87 dB（JEITA）

電源部

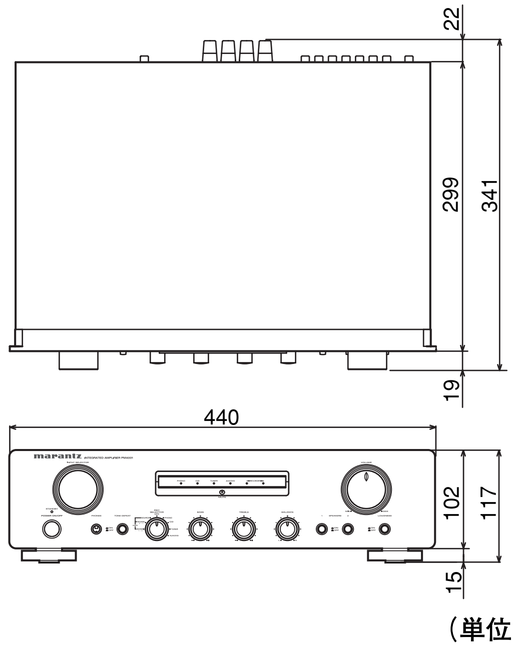
電源電圧 .... AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 100 W

キャビネット・その他

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）.......... 440 × 117 × 341 mm
質　量 .... 6.6 kg

本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

■ 外観寸法図



（単位 mm）

その他

■ お手入れ

- セットが汚れた時は柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい時は食器用洗剤を５～６倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

■ ステレオ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

■ 保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より１年間です。
   お買い上げ販売店又は当社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」致します。
3. 保証期間経過後の修理。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低８年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の当社お客様ご相談センターに遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度“故障とお考えになる前に”をご参照の上よくお調べください。それでも直らない時は、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1）	品名	**インテグレーテッドアンプ**
2）	品番	**PM4001**
3）	お買い上げ日	年　月　日
4）	故障の状況	（できるだけ具体的に）
5）	ご住所	
6）	お名前	
7）	電話番号	

marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9：30ー12：00　13：00ー17：00

（土　日　祝日　当社休日を除く）

修理に関しましては 添付の「 **製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内** 」をご覧ください。

株式会社**マランツ**コンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

http://www.marantz.jp

Printed in China

12/2006　00M44BW851113　mzh-d